

# 令和7年度区民意識意向調査 調査結果速報について

## 1 調査概要

### ▶ 目的

区民の住みやすさや定住意向、区への愛着・誇りのほか、区の施策に対する意識・意向などを広く把握し、基本計画のほか、区の各行政計画のさらなる推進に向けた基礎資料とすることを目的に調査を2年に1回実施している。

### ▶ 概要

調査対象	板橋区に居住する満18歳以上の区民3,000人
抽出方法	住民基本台帳から層化二段無作為抽出
調査方法	調査票を郵送し、Webページまたは郵送による回答
調査期間	令和7年4月25日(金)～5月16日(金)
調査項目	区での住み心地、今後力を入れるべき分野 ほか全49問

### ▶ 回収結果

有効回答数 1,255件/3,000件

有効回答率 41.8%

【件数内訳(件数比率)】

Web: 601件 (47.9%)

郵送: 654件 (52.1%)

#### 参考

H27 1,296件/3,000件(43.2%)

Web: 121件 (9.3%)

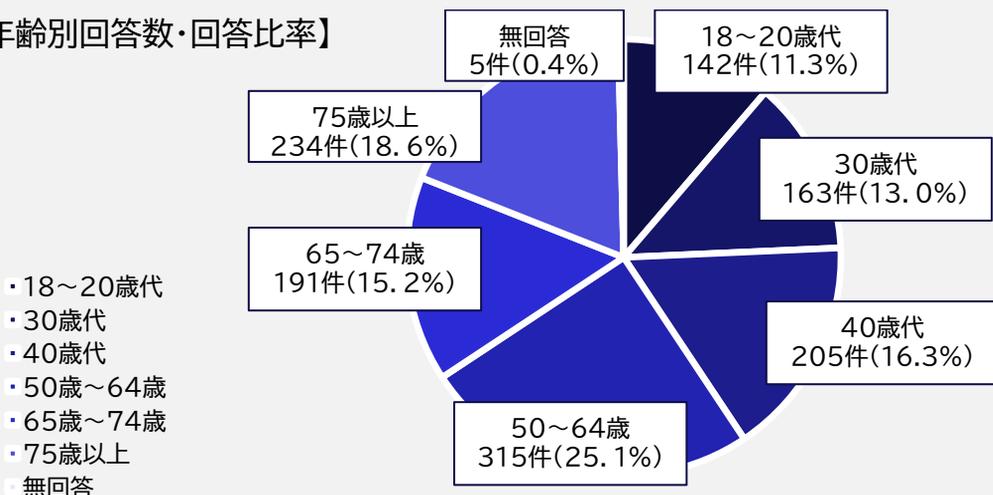
郵送: 1,175件 (90.7%)

R5 1,178件/3,000件(39.3%)

Web: 489件 (41.5%)

郵送: 689件 (58.5%)

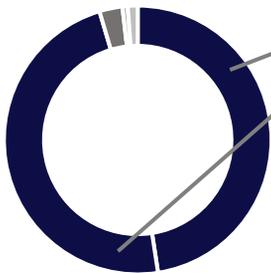
#### 【年齢別回答数・回答比率】



## 2 回答内容

### ▶ 区の住み心地

板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。



「住みやすい」  
「まあ住みやすい」  
合計 **95.4%**

参考(H27年度)  
93.8%



○年齢別でみると

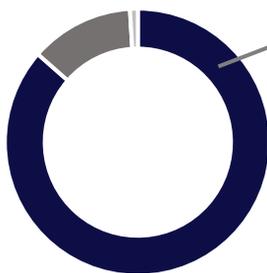
30歳代が最も高く **96.9%**  
(H27年度は90.9%で30歳代が年齢別で最も低かった)

○同居家族別でみると

子育て世帯※は **95.7%**

※未就学児・小学生・中学生のいずれかが同居家族にいると答えた方

あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。



「今後も区内に住み続けたい」  
合計 **86.5%**

参考(H27年度)  
84.7%



○年齢別でみると

基本的には高齢になるほど高まる傾向だったが、75歳以上に次ぎ、

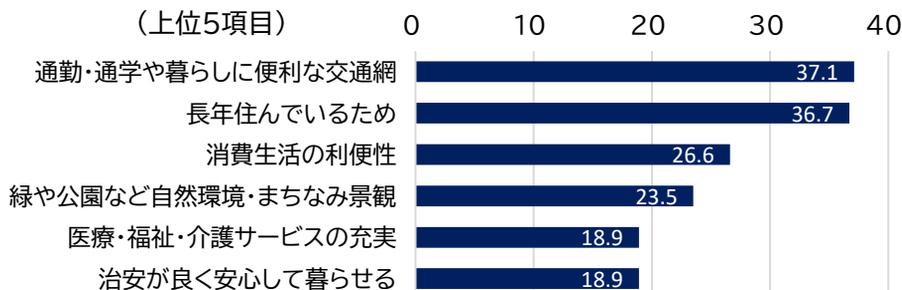
40歳代が **89.3%**

○同居家族別でみると

子育て世帯は **89.2%**

住み続けたいと考える理由は？

(上位5項目)



○同居家族別でみると、子育て世帯では

「子育てしやすい環境であるため」 「家族や親戚が近くに住んでいるため」

**1位 44.2%**

**3位 24.3%**

区外に移り住みたいと考える理由は？

(上位5項目)



☞ 転出先希望自治体は・・・

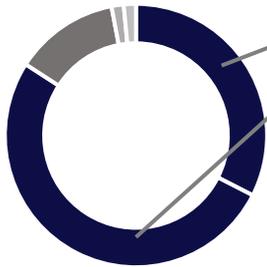
「他の東京23区」**54.4%** 「千葉・神奈川」10.1% 「埼玉」7.6%



○「住み続けたい理由」と「移り住みたい理由」を比較すると、上位項目に大きな違いはないが、「住み続けたい理由」の中で、「医療・福祉・介護サービスの充実」のポイントが高い

## ▶ 愛着と誇り

あなたは、板橋区での暮らしに「愛着」を感じますか。



「感じる」  
「まあ感じる」  
合計 **84.1%**

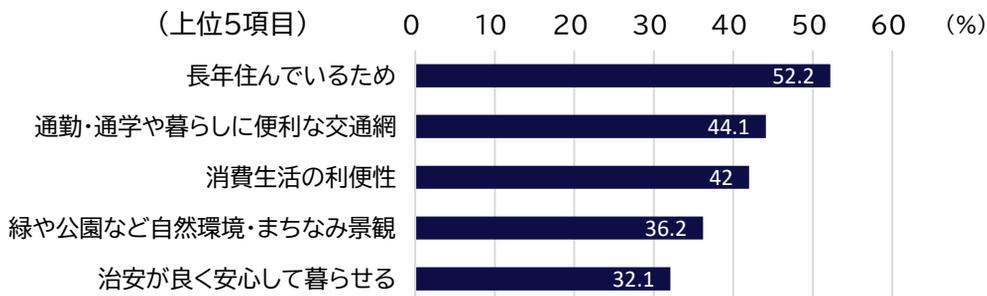
参考(H27年度)  
76.4%



○年齢別でみると  
全世代 **80%** 超え(調査開始後初)  
若年層のほうが低い傾向

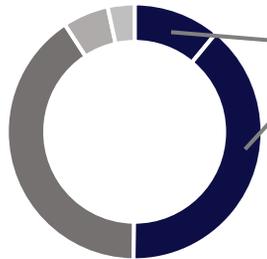
○同居家族別でみると  
子育て世帯は **87.9%**

愛着を感じる理由は？



○「住み続けたい理由」と比較すると、上位は順位の差こそあれ、同一の項目が並ぶ

あなたは、板橋区での暮らしに「誇り」を感じますか。



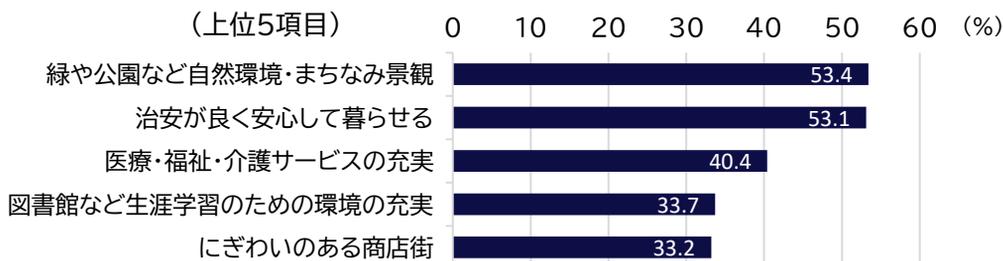
「感じる」  
「まあ感じる」  
合計 **50.1%**  
(50%超は調査開始後初)  
参考(H27年度)  
39.1%



○年齢別でみると  
75歳以上が最も高く **58.5%**

○居住年数別でみると  
生まれたときからが最も高く  
**55.1%**  
他10年以上の居住者が高い傾向

誇りを感じる理由は？



○「愛着を感じる理由」と「誇りを感じる理由」を比較すると、両設問に共通する選択肢の中※では、「緑や公園など自然環境・まちなみ景観」「治安が良く安心して暮らせる」がともにポイントが高い

※愛着と誇りを感じる理由の選択肢について、17個の選択肢については同一のものを使用しているが、上位3項目の「長年住んでいるため」「通勤・通学や暮らしに便利な交通網」「消費生活の利便性」等を含む6つの選択肢は、愛着を感じる理由の設問にしかない選択肢となっている。

## ▶ 若い世代・子育て世代の定住化に向けての取組について

■ 少子化対策や若い世代・子育て世帯の定住化に重要だと思うものはどれですか。

(上位5項目) 0 10 20 30 40 50 (%)

全体



(上位5項目) 0 10 20 30 40 50 60 (%)

子育て世代

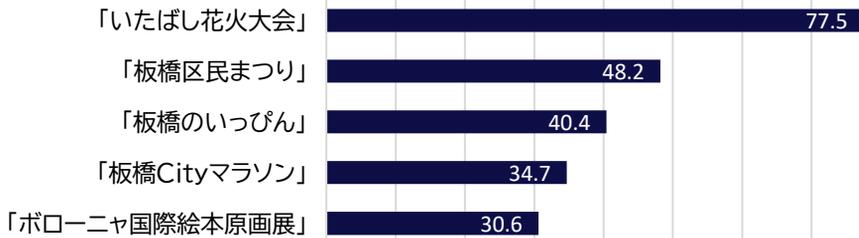


○子育ての負担軽減、共働き支援に関するポイントが高い

## ▶ 板橋区のブランドに関する取組について

■ 板橋らしさを感じるブランド創造に向けた取組で知っているものはどれですか。

(上位5項目) 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 (%)



○回答者1人当たりの知っている取組の数を、属性ごとで比較すると、全体回答の3.96個に対し、若者世代※は、2.86個と知っている取組は少ない傾向にある一方、子育て世代は、4.72個と全体回答より多い

☞子育て世代は、区の取組について、より知っている傾向がある

※18～20歳代もしくは30歳代と答えた方

■ あなたが、板橋区のブランドになりうるものと考えてるのはどれですか。

(上位5項目) 0 10 20 30 40 50 60 70 (%)

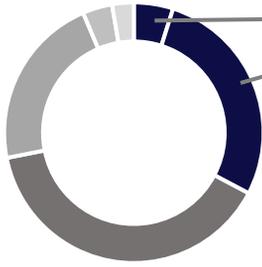


○年齢別や同居家族別でみると

上位5項目は同じだが、若者世代や子育て世代の特徴として、「共働き～子育て環境」「ポローニャ絵本館～中央図書館」のポイントが高く、世代間でのブランドとを感じる対象には特徴がある

## 区の情報発信について

あなたは、区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。



「伝わっている」  
「まあ伝わっている」  
合計 **32.7%**

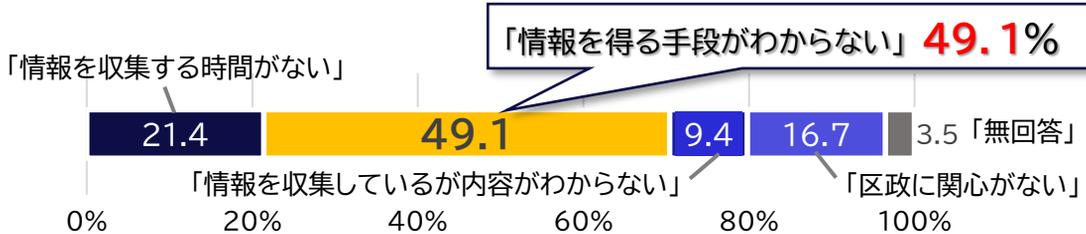
参考(H29年度)  
14.8%



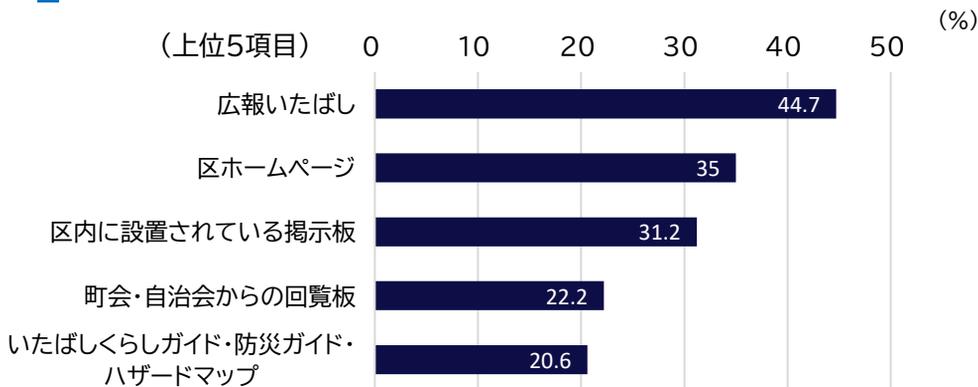
○年齢別でみると  
おおむね年代が高ければ、高いほど  
「伝わっている」との回答

75歳以上は **49.6%**  
対して18~20歳代は **22.5%**

「全く伝わっていない」「あまり伝わっていない」と回答した方のみ  
区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。



あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。



○H29年実施時の結果と比較すると、「区ホームページ」

19.1% 4位 → **35.0%** **2位** に上昇

○「広報いたばし」は、変わらず1位ではあるが、ポイントは下落

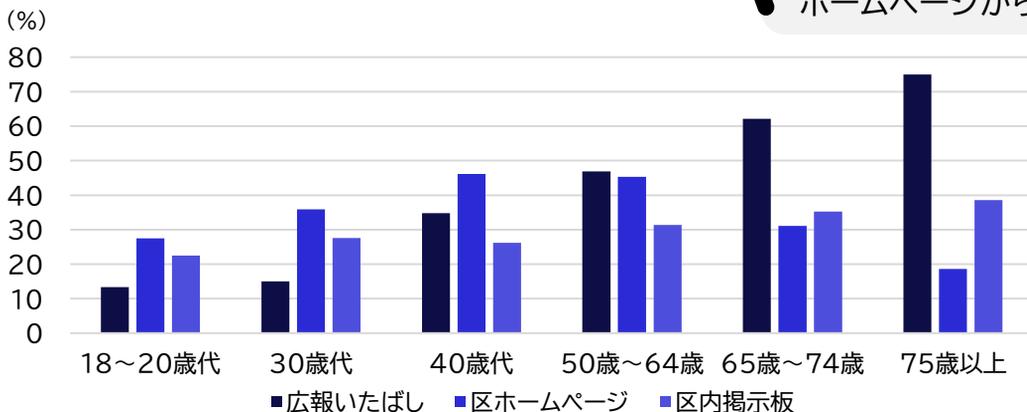
58.7% → 44.7%

### 年齢別

区の情報を得るためのツール上位3項目



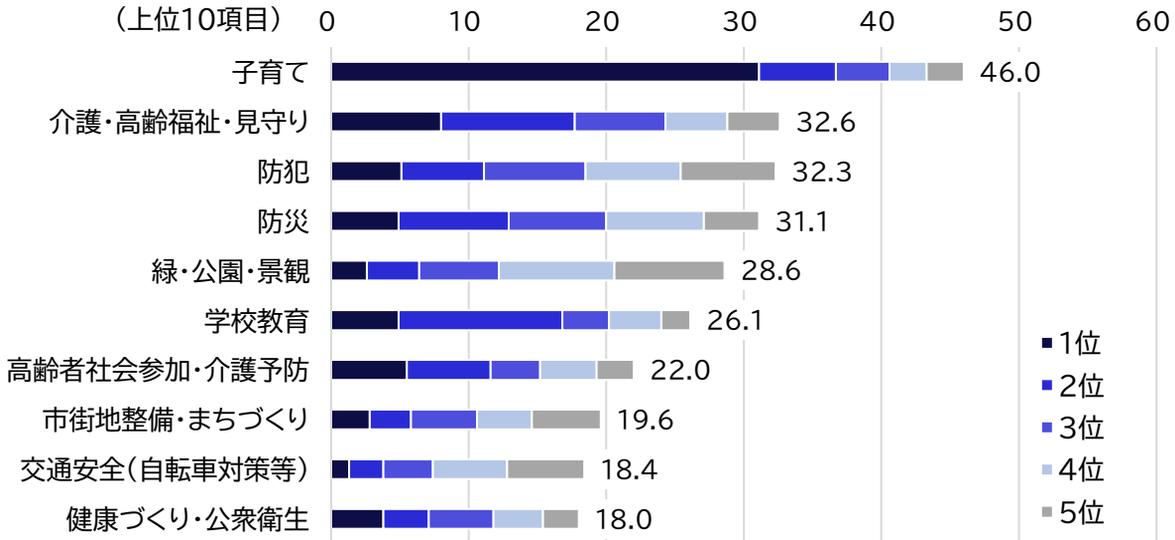
○情報を得る手段は、  
50~64歳を境に  
ホームページから広報に



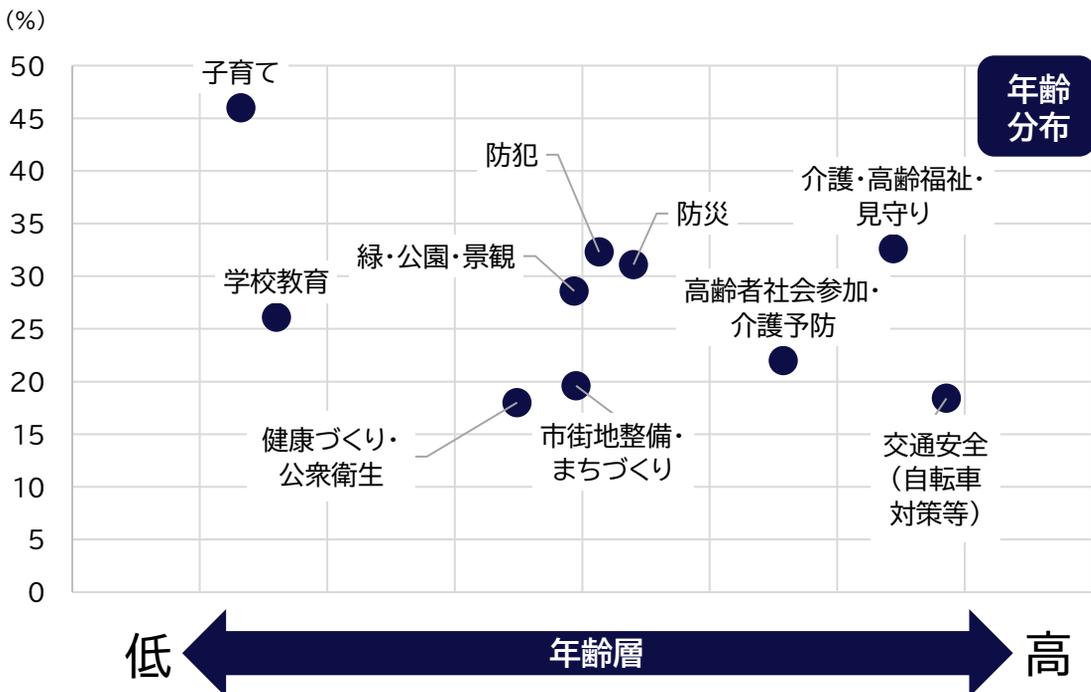
## 区の政策について

板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つ選んでください。

(%)



○上記の上位10項目について、回答者の年齢分布を見てみると



○年齢層が比較的低めの層では、子育て世代を中心に、「子育て」「学校教育」等子どもに関わる分野への関心が高い

○年齢層が高めの層では、「介護・高齢福祉・見守り」「高齢者社会参加・介護予防」等自身に深くかかわる分野のほか、「交通安全(自転車対策等)」への関心が高い

○「防犯」「防災」「緑・公園・景観」「市街地整備・まちづくり」「健康づくり・公衆衛生」といった分野は幅広い年齢層から関心が集まった